

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

釜利谷地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

釜利谷地区には平成 29 年 3 月現在約 31,540 人が暮らしている。世帯数は約 14,150 世帯、平均世帯規模は 2.23 人/世帯。平成 24 年～29 年の期間で見ると人口は減少が続いている。65 歳以上の高齢者がいる世帯は増加しており、高齢者の単独世帯、高齢者の夫婦のみの世帯も増加している。29 年度時点の高齢化率は 29.6%で、市、区の平均を上回っている。高齢化率は 5 年間で 4.8%上昇している。釜利谷地域ケアプラザの担当地域は、金沢文庫駅の西側に広がる住宅地と、丘の上に開発された住宅地の 13 町内会となる。地縁関係で成り立っている旧住民層の地域と、開発による新住民層の地域があり、地域の特性が分かれている。

高齢世帯の多い地域は、坂が多い地形であり、バスが通っていない地域もあり、通院、買い物、駅への移動が困難で、活動が制限されやすい課題がある。地域には居宅サービス事業所や入所施設も多くある。また、高齢者向け賃貸住宅も増え、地域とのつながりが課題となっている。

各地域で主体的な活動が多くあるが、同様の課題をそれぞれで抱えている。他地域との交流や情報交換を実施し、地域が主体となり悩み等の解決に向け支援し、活動が継続できるよう取り組んだ。地域から健康づくり、認知症予防に対する講座の依頼が増えており、地域で取り組む意識が高くなっている。また、ちょっとした困り事を身近な住民同士で解決する「ちょいボラ」が立ち上がる地域もあり、全体に広まるよう地域へ出た際には情報提供し、共に地域での見守りや支えあいの仕組みづくりに努めた。

(1) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者、障害者、子どもなど全ての地域住民の相談にスムーズに対応できるよう部署間で協力し、相談者へ情報提供を行っている。部署間での情報共有の場として、月 1 回の会議や、必要に応じて話し合いの場を設けている。他機関とのスムーズな情報共有を行い、相談内容によっては共に対応できるよう連携を図っている。

自主事業や出張講座は、5 職種で出向き、対象に合わせた様々な情報提供を行った。同時に、地域での困りごとを情報収集し、的確な情報が提供できるよう積極的に地域の方との交流を行った。必要に応じて、区や関係機関と地域課題について話し合いを行っている。

(2) 各事業の連携

毎月の5職種連携会議では、地域包括支援センター3職種と生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターが把握した情報やニーズを共有し、有機的な連携を持って業務にあたっている。

29年度から開始した地域住民と共に支え合いや見守りについての話し合いの場づくり「かまりやーの」を今年度も開催し5職種それぞれの立場や視点から意見を出し合い具体的な取り組みを地域住民、事業所とともに実現に向けて取り組んでいる。4月から開始した高齢者見守りキーホルダー「かまもりホルダー」についてもケアプラザ職員全員で取り組みケアプラザの役割を果たしている。今年度5職種での共催事業（認知症、地域づくり、活動グループ支援）を開催し、お互いの立場から意見を出し合いより充実した事業展開ができるよう工夫した。

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

地域ケアプラザ管理運営に関する協定書を踏まえ必要職員を適正に配置できている。12月より社会福祉士1名が産休に入ったが、地域活動交流、生活支援コーディネーター、地域包括支援センター職員で協働し業務に取り組んだ。また、予防プランナー非常勤を雇用し他職員は包括支援センター業務に専念できるようにしている。

自己育成シートを30年度も非常勤含め作成し、職員一人ひとりが年間の目標を定め、上席者と共有し、12月に振り返りを行い人材育成に取り組んだ。

今年度も各部署別、ケアプラザ全体の年間研修計画を作成し常勤、非常勤は研修に参加し専門性の向上を目指した。研修参加後は、報告書を作成し回覧し、内部会議にて報告し全職員で共有している。

区内の職種別連絡会やそこで企画される研修は必ず参加し資質向上の機会としている。

所長含む職員で構成する研修委員会の研修は、ケアプラザ全体で取り組むべき課題についての研修を企画し、1回/年開催している、今年度は、災害時にすぐに行動できるよう、地震から火災発生を想定し、3階まで利用者を避難誘導する訓練を実施した。

地域包括支援センターで事業所の選択の相談を受けた場合は、一覧表を提示し、複数の事業所の中から自己選択自己決定できるようにしている。個人情報保護の取り組みとして、今年度も個人情報漏えい防止チェックシートを非常勤も含め全職員が記入し、意識づけをするとともに、4月には内部研修として、会議にて個人情報保護マニュアルを職員で再確認し読み合わせた。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域で行われている行事やサロンへ積極的に参加し、民生委員児童委員や保健活動推進員等の会合や障がい児を持つ親の会への後援や会合へ出席し、活動に参加し、情報や課題を共有している。

支え合い連絡会や地域で活動されている団体の交流会、認知症キャラバンメイト交流会を開催し、情報や課題を共有し、それぞれの活動の推進に向けネットワークの構築に向けて取り組んだ。

エリアの小中学校、大学の福祉教育の支援も継続して行い、地域の重要な資源である学校との関係づくりに努めた。

地域住民、専門職、事業所等多様な主体で立ち上がった「かまりやーの」では、地域での見守り支え合いの具体的な取り組みに向けて話し合いを重ね、見守りネットワークの構築、運営を行った

(5) 区行政との協働

地域包括支援センター、地域活動交流、生活支援体制整備事業において介護予防・健康づくり、医療・介護の連携、地域の人材育成等地域の情報を共有しながら地域包括ケアシステムの構築に向けて取り組んでいる。

区との共催事業や定例会議、個別ケースの共有・支援等を通じて地域福祉保健計画の実現を目指した。また、地域支援チームの一員として区、区社協との会議、事前打ち合わせ、電子地図研修に出席し、学びや情報共有を強め連携して地域の取り組みを支援した。2回行われた地区推進連絡会において、グループ別意見交換にて役割を果たした。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

ニーズの発見や解決に向けての自主事業を展開するとともに、多くの方が出会い・知り合える環境づくりを行い、地域住民同士の気づきや助けあいの地域づくりに繋げていくことを目指して事業の展開をした。

『今年度の取り組み』

- ① 今年度は、認知症や認知症の疑いのある方の単独参加の受け入れの促進を行った。認知症の方が安心して過ごせる場所、認知症の理解、助け合いの推進、介護者の負担軽減を目的に講師の協力の下、積極的に受け入れを行った。
- ② 知的障がい児が代表者となつての貸館登録、自主活動支援をケアプラザの後援等をあえてつけずに行った。

『地域包括支援センター、生活支援整備事業との共催事業』

認知症（認知症サポーター養成講座、認知症カフェ）、地域づくり（かまりやーの、見守りホルダー）、地域の活動グループ支援（つながりの会）を、地域包括支援センター、生活体制整備事業との共催で展開した。それぞれの立ち位置や役割を見極め、より充実した事業展開やサービスの充実につながっている。

『地域でできること、私たちにできること』

地域の方を対象に、地区社会福祉協議会、西金沢地域ケアプラザとの共催事業で、“自分にできること”を中心に話し合いを行うとともに、講演会を開催した。単に“助け合い”ではなく、地域ケアプラザとして、この力（特に若い世代）が行政や町内会の活動につながるよう努めた。

『ゴスペル教室』『ピラティス教室』

福祉保健に関わりが薄い世代層の参加者が多い週末開催のゴスペル教室とピラティス教室。他団体への活動参加や合同での活動にもつながっており、交流や活動を広げる場としても機能している。貸館利用の少ない週末に開催することで、場所の有効活用とともに、社会人や中高年の参加が多いことで地域資源の発掘の場ともしている。

『地域支えあい連絡会』

地域支援者、行政、区社会福祉協議会、ケアプラザ等と、それぞれの立場から現況を聞き合うことで、情報交換と顔の見える関係づくりの場を目的に開催している。この連絡会は、楽しく、誰もが自由に発言しやすい環境を整えることで、他地域・多団体の課題や問題が、自らのものとして捉え発言できるようなインフォーマルな場づく

りを心掛けている。

『高齢者』

高齢者が将来孤立しないために、少しでも早い時期から地域と関わりを持ち、顔の見える関係を築くことを目的とした、手芸サロン“はりねずみのお針箱&和ティーサロン”では、手芸を教え合う形が定着しやりがいにつながっている。今年度からは“お喋りだけの参加”という機能も加え、誰もが参加できるよう工夫を加えた。体操教室や歌の教室においても、参加者同士の状況確認や情報伝達が自然になされている。また、これらの事業は、ケアプラザの職員が参加者にとってより身近な存在となることを目指し、地域包括支援センター協力の下、どんなことでも気軽に相談できる場としても機能している。

『障がい児者』

障がい児によるボランティア活動『放課後活動かまりやクラブ』『かまりやボランティアポイント“ひこうき”』の開催を引き続き行った。『かまりや英語クラブ』では、障がいの程度や年齢に制限を付けず、また、当事者の付き添いということだけでなく、一人の参加者としての家族等の参加もあり“皆で楽しむ”をモットーに開催をしている。また、障がい者対象事業以外のどの事業にも、希望があれば全ての事業に障がい児者の受け入れ態勢をとっている。

金沢区内ケアプラザと金沢区社会福祉協議会との共催で“サマーフレンド”を3回開催した。

『子育て』

年齢別、多年代（0～6歳）、多世代と、事業内容も含めて様々なパターンの事業を提供している。

（おはなし会、親子体操、乳児教室、共催による講演会・サロン等・食育）
気になる親子の参加があった場合は、主任児童委員や区役所と連携するなどの対策をとっている。

『多世代』

『プラレール広場』において、幼児、母親、シニア男性ボランティアが皆で準備し・遊び・片付けを行う、参加型事業を開催している。

『会食サロン“森の小道やまなみ”』

所長、地域包括支援センター、生活支援体制整備事業、地域活動交流の各部署の常勤・非常勤職員と、貸館利用者、地域ボランティア、地域支援者とともに安定した開催を続けている。関係部署の職員全員が関わることで、地域住民との関係を一層身近なものとしている。

『講座・講演会』

地域包括支援センターとの共催で、医療講演会、暮らしの教室、認知症関連事業等を開催し、福祉・保健の啓発に努めた。

『ちょっとおじゃまします』『あんしんして暮らせる10分間講座』

地域包括支援センターの社会福祉士を中心とした職員が、地域活動交流主催事業や地域で開催されているサロンに出向き、10分間程度の時間を利用して、様々な制度や消費者被害、詐欺、空き巣、交通安全等、最新の情報を参加者に提供している。

参加者が自宅に帰ってからも、家族や知人にその情報を伝えていただくようお願いし周知の範囲を広げるとともに、事業参加者が他者に伝えることで、得た知識がより記憶に残るよう工夫したものである。地域やケアプラザで様々な講座や講演会が開催されているが、情報提供・注意喚起したい方と参加者は、必ずしも一致していない。また、今は必要ない情報でも、耳にしておくことで将来役に立つこともある。より多

くの地域住民に情報を伝えていく必要性を感じ事業化し継続している。

『関係団体との共催事業』

区社会福祉協議会、地区社会福祉協議会、区内ケアプラザ、保健活動推進員、金沢区食生活等改善推進委員会、地域団体等と共催事業を開催し協働での地域支援と各組織との関係を深めた。

『当事者との関わり』

障がい児を持つ母親の自主グループと子育て支援者の勉強会の自主グループの後援をし、ともに活動に加わることで決して表には出ない・出せないようなインフォーマルな情報を得、ケアプラザ事業の中で反映させるよう努めた。

『福祉教育・職業体験の受け入れ』

学校等からの依頼を受け、趣旨に応じたプログラムを用意し対応した。

『福祉保健計画』

地域活動交流事業や共催・協働事業、また、地域支援チームのメンバーとして、計画実現に向けての役割を果たすよう努めた。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

福祉保健活動団体が安定した活動を行えるような場の確保や調整を行うとともに、支援が必要な団体に対しては、支援を受けながら安心して活動できる場の提供を心掛けた。

『利用促進』

未登録団体に対して、ケアプラザが無料で貸館を行っていることの周知に努めるとともに、登録団体が希望の日時に貸館予約を取れなかった場合には、他施設の紹介やケアプラザ内のフリースペースの提供などをし、活動を滞らせないように努めた。また空き情報や利用方法などは、個人の状況に応じて個々に対応することに努め、さらに、こまめに声掛けを行うなどし、利用団体の状況把握にも努めた。

『コーディネート』

福祉保健活動団体がケアプラザという場を利用して活動しているということの意味を捉え、積極的に団体との関係を深め、活動の支援を行うとともに、団体と地域資源（講師）等のコーディネートも行なった。

『安全』

安全面においては、防災頭巾の設置とともに、貸館利用団体参加者全員を対象に、定期的に団体ごとに館内を歩き、災害時の避難経路について説明を行った。また、引き続き高齢者、幼児、障がい者が安心して館内を利用できるよう、靴を履き替えることなく館内に立ち入れる工夫や、館内の掲示物に画鋸を使用せずテープで対応する等の安全対策をとった。更に、障がい者や子どもの利用がある場合は、職員の誰もが来館者に配慮できるよう毎朝の朝礼で来館予定者についての周知を行った。

『物品管理』

机、椅子、調理器具等の物品管理については、写真や絵・図を掲示することで、スムーズな利用と次に使う団体への配慮にもつなげた。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

今年度も引き続き安定したコーディネートと育成を行った。

『在宅ボランティア』

デイサービスで使う手縫いの足拭きや園児向け認知症サポーター養成講座でオレンジリングの代わりに配るフェルト製の“ロバ隊長”作りを自宅で作成していただいた。また、自主事業である“はりねずみのお針箱”では“あいさつ運動マスコット”を制作していただく予定があり、地域づくりの支援にもつなげる予定である(第4四半期)。

『お花作りボランティア』

貸館利用団体中心に声掛けを行い、“すみなすフェスタ”で使用するお花紙でのお花作りボランティアを募り活動していただいた。年齢や体力に関係無くできるボランティア活動であり、ボランティア活動未経験者にはボランティア第一歩として活動しやすいものとなった。また、これがきっかけで会食ボランティアにも繋がっている。

『子育て支援ボランティア』

幼稚園教諭の資格を持つ子育て中の母親にボランティアとしての活躍の場の提供を行った。

『多世代交流男性ボランティア』

退職後の高齢者の方に”プラレール広場“において、子どもたちの遊び相手、プラレールの修理、乳児の子守を担っていただいている。

『育成』

高齢のボランティアの方には、楽しみながら、また、活動の場を広めるという意味で『シニアボランティアポイント』についての案内を行うとともに登録会開催を予定している(第4四半期)。

『貸館利用団体によるボランティア活動の推進』

貸館利用団体に対してボランティア活動先を提供し、新たな担い手としてつながるような方向付けを行うとともに地域活動への啓発にも努めた。また、金沢区内のケアプラザと金沢区社会福祉協議会と共催で、大学生向けのボランティア講座を開催するとともに、“夏休み障がい児余暇支援事業サマーフレンド”の開催を通じて、学生のボランティア育成に努めた。

『その他』

エリア内の高齢者施設のボランティア募集を広報紙上に載せ、周知とともにケアプラザ利用者に呼び掛けるなどし、コーディネートに努めた。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

関係機関との会合や共催事業を通じて、相互での情報収集及び情報提供を行なうとともに、地域により近い福祉・保健の施設であるという特性を活かした情報収集を行い、必要な人に必要な情報がタイムリーに届くよう努めた。

具体的には、地域支えあい連絡会、釜利谷子育て連絡会、地区推進会議、コーディネーター連絡会、障がい児自主・支援グループ等、更に多様な団体との共催事業(地区社協、民生委員・児童委員、保健活動推進員、食生活改善推進員、地域支援グループ等)を通じての情報収集および提供を行った。また、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターとの共催事業を通じて、それぞれの視点で社会資源の把握を行うとともに、地域の現状把握にも努めた。

- ・ 金沢養護学校の“かなフェス”に出向き、学校見学とともに、当事者、支援者との交流に努めた。
- ・ 貸館利用団体『カモミール(障がい児を持つ親の会)』『はぐくみかい(子育て支援者、心理カウンセラー)』に参加させていただき、情報の収集と提供に努めた。

- ・子ども支援を中心とした“ばるーんの会”（主任児童委員、区子ども家庭支援担当者、西金沢地域ケアプラザ）及び、子ども・障がい児支援を中心とした“釜利谷コミュニティーネットなないろの会（フレンドリースペース金沢、主任児童委員、障害児を持つ保護者の会代表、区子ども家庭支援担当者、西金沢地域ケアプラザ）の定期的な開催により、よりコアな情報収集と情報提供を行うことができた。
- ・地域支援者には、地域支えあい連絡会等を通じて、行政、区社会福祉協議会、ケアプラザからの福祉保健に関する情報提供を行った。また地域支援者からの視点での情報収集ができた。
- ・福祉保健活動団体の活動（障がい児を持つ親の会、子育て支援者の勉強会）に参加し、当事者や専門家から生の声を聞き、情報収集・情報提供に努めた。
- ・地域住民に対しては、行政からの告示や、区社協、地区社協から得た内容をわかりやすく情報提供をするよう努めた。具体的には、地域包括支援センターとの共催による『あんしんして暮らすための10分間講座』、『ちょっとおじゃまします』を開催し、直接住民に語りかける形で情報提供をする場を増やしている。また、広報紙『やまなみ』には地域包括支援センターからの情報提供に加え、“k a n a k e i（かなけい）”の欄を設け、金沢警察署からの注意喚起のお知らせを定期的に掲載している。
- ・町内会や子育て支援拠点のホームページ上にケアプラザの情報を毎月提供した。
- ・広報紙・チラシの発行（年11回）・掲示、ケアプラザホームページ（毎月更新）や区の広報紙及び横浜市のイベント情報検索システム『横浜カレンダー』等を活用し、より多くの方に情報が届くよう努めた。更に、事業開催時には参加者に合わせたチラシを置くとともに、個別に必要な情報を見極め情報提供するなどの対応にも努めた。
- ・横浜市が提供している人口統計等の資料を基に、地域に合わせて資料を独自に作成し、データから地域を読み取ることの周知を行った。
- ・地域情報、貸館登録団体等の活動を必要に応じての情報提供に加え、活動参加への橋渡しも行った。また、地域に近い福祉保健の施設という特性を生かし、福祉保健活動団体等との共催事業や地域住民との会話の場を多く持つことにより、よりタイムリーな生きた地域情報を得ることにも努めた。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・定例ミーティングでは、訪問した地域の状況説明、活動の予定とその結果報告をし、生活支援体制整備事業の進捗状況の情報共有を計った。
- ・生活支援コーディネーター連絡会で得られた情報は、資料を回覧するなどし、5職種で共有を計った。
- ・地域アセスメントをもとに、第1層生活支援コーディネーター、釜利谷地区担当、釜利谷ケアプラザ職員と共に昨年度の地域支援計画の振り返りを行い、今年度の地域支援計画を立て同じ方向性を持って業務の取り組みを行った。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・Ayamu は、地域の新しい活動がある毎に更新に努め、常に新しい情報が掲載されるよう努めた。
- ・住民主体の地域の活動を、地域の民生委員・児童委員に依頼し、今年度で3年目となる「釜利谷みんなの情報シート」の更新を、主任ケアマネジャーと共に行った。
- ・釜利谷に点在する野菜の直売所を訪ねて情報を収集し、「かまりや やさい直売所

ップ」にまとめることが出来た。来年度は、野菜が収穫される時期にサロン等で配布し社会参加による介護予防に繋げたい。

- ・釜利谷に点在する商店～大型スーパーまで、主任ケアマネジャーと連携し、お店を訪問しながら情報を提供していただき、「釜利谷お買い物情報」を一冊にまとめている。今年度中の配布を目指し現在作業中である。お買い物を通し、引きこもりがちな高齢者や買物難民となっている高齢者の社会参加に繋げるとともに、子育て中の子連れの親御さんにも活用して頂きたいと考えている。
- ・個別ニーズから、地域の高齢者の生活課題やニーズを把握することについては、個別で関わることがあるのは、いつも訪れているサロン等お会いする方に限られている。どこの地域にどのようなニーズがあるかという情報収集や傾向の把握については、次年度への持越しとし、今後どのような形で情報収集するか検討が必要である。

(3) 連携・協議の場

- ・「つながりの会」を5月に開催し、各ボランティアを行っている団体が集まり、それぞれの活動の状況を報告するとともに、課題をあげて、解決に向けた情報共有を計った。今年度2回目の「つながりの会」は、平成31年3月の予定である。
- ・「ホームページ情報交換会」を開催し、ホームページを持っている自治会・町内会の方が集まり、技術的な情報の交換や、作成時の課題や活用に関する課題等を話し合う機会を作った。担当エリア外の方が、この会に興味を持ち参加されたり、ホームページの説明会を自治会内で開催されたりしたこともあり、今後の広がりやインターネットの広がりが期待される。
- ・協議体「かまりやーの」を通じて、「あったらいいな、あんなこと、こんなこと」を地域住民とエリア内にある事業所の職員と一緒に釜利谷の課題を話し合い、解決に向けた話し合いが進められている。「事業所と住民の枠の無い釜利谷」を目指し、今年度は誰もが参加できる「防犯」の取り組みをキーワードにワーキンググループを発足し、活動を形に出来るよう取り組みを行っている。
- ・昨年度の協議体「かまりやーの」で「安心して住み続けるため」のツールとして見守りホルダーの案が出され、ケアプラザとして5職種連携で実施に向けて話し合い・調整し開始している。
- ・住み慣れた釜利谷で住み続けるため、「かまりやお買い物情報」を主任ケアマネジャーと共に情報収集し、地域にあるお店の配達等に関する情報を作成中である。完成後は、買物難民の高齢者や子育て中の親御さんに役立てていただくとともに、高齢者の社会参加による介護予防に繋げたい。
- ・認知症に係る事業は、今年度も5職種連携で取り組み、認知症カフェ「かまりやサロン」の運営と、認知症サポーター養成講座「高舟台小学校」「釜利谷保育園」「関東学院大学」(H31.1月開催)に取り組んだ。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・六浦地域ケアプラザで開催されている「ささえ愛のつどい」の定例会とイベントに柳町と釜利谷の生活支援コーディネーターが参加している。ケアプラザの担当エリアを越えた取り組みとなっている。圏域を越えた取り組みをすることで、住民にとっても活動の広がりとなる。
- ・自治会・町内会の枠に縛られない取り組みについては、「つながりの会」がそのような役割も兼ねているので、今後も続けていきたい。
- ・生活支援や社会参加に繋がる取り組みは、「かまりや野菜直売所マップ」や「かまりやお買い物情報」の他、地域に出かける際は、必ず地域活動・交流コーディネーターや地域包括支援センターが実施している事業のチラシを持ち歩き、お出かけの機

会の提供を行った。

- ・地域では担い手不足が問題となっている。平成31年1月に、地域活動・交流コーディネーターと連携し、65歳以上の方を対象としたシニアポイントの登録会を開催した。
- ・釜利谷第一地区友愛の定例会に西金沢地域ケアプラザの生活支援コーディネーターと一緒に参加し、第一地区全体で何か出来ること、各シニアクラブで出来ることを検討中である。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

①地域におけるネットワークの構築

高齢者支援に関わる地域の多様な活動をまとめた「釜利谷みんなの情報シート」を、生活支援コーディネーターと協力し、新しい情報を収集・更新し、民生委員やケアマネジャーへ配布した。実際に支援計画に活用したとケアマネジャーからの声も確認でき、今後も更新していく。「かまりやお買い物情報」を作成した。

「かまりやの」の全体会を1回、ワーキンググループミーティングを2回開催し、支援ネットワーク・気づきのネットワークの構築として防犯をテーマに検討した。また、その「かまりやの」から生まれた高齢者みまもりキーホルダー「かまもりホルダー」の登録受付を開始し、5職種で協力し、各町内会への出張説明・登録会などを行った。

居宅介護支援事業所等の関係機関へ月1回訪問し、情報交換やネットワーク構築に努めた。

②実態把握

地域分析として、総合相談件数、介護保険申請者数（予防を除く）を丁別に集計・データ化し、地域特性の把握を行い、部門間で共有し、次年度の事業計画に役立てている。各事業では、必ずアンケートをとり、参加者が望んでいる講座内容を反映できるように次年度の計画を立てている。

地域サロンや出張講座に出向いた際、地域住民や民生委員等の地域福祉従事者との会話の中で、地域で起こっている課題や、個別ケースの情報収集、ニーズの把握に努めた。

③総合相談支援

さまざまな相談に対応できるよう、フォーマル・インフォーマルサービスの情報把握を行い、幅広い情報を提供し、ワンストップで必要なサービスにつなげるよう努めた。総合相談では、ケアプラザの事業、地域包括支援センターで行っている介護予防事業や地域のサロン・サークル情報の提供を行い、民生委員や町内会役員と情報共有し、最新の情報を提供できるよう努めた。

複数の問題を抱えているケースについては、幅広い視野で検討できるよう地域包括支援センター内で定期的なケース会議を行っている。また、3職でのケース検討以外にも、他部門や区・他機関と連携し、各ケースへ対応した。今年度も、民生委員、ケ

アマネジャー、施設職員からの相談が多くあり、同行訪問を積極的に行った。

介護サービスにはつながらないが継続的な関わりが必要なケースや、区から届く相談票は介護保険申請後のフォローのため数日後に電話で現況確認を行うなど、継続的なフォローを行っている。

認知症に関する相談が増加している為、前年度から始めた「かまりやサロン」は月1回のペースで5職種で連携し開催している。

(2) 権利擁護業務

① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

・成年後見制度の取り組み

成年後見制度の利用が必要な方に対して、積極的に説明を行い、申し立て支援を行った。本人申立を行ったケースでは、代理契約を行った弁護士事務所とのやりとりや、スムーズな申し立てができるよう区や医療機関との情報共有・同行訪問や会議を通し支援した。ケアマネジャーからの相談では、積極的に情報提供を行い、利用を希望している本人や家族、そして支援者が円滑に行動できるよう支援した。相談から後見人が実際に決定するまでの間、介護サービスが適切に受けられるよう、各機関との会議やカンファレンスを行った。

出張講座・フェスタ等で成年後見制度の説明とパンフレット配布を実施。普及啓発のための事業として、コスモス成年後見サポートセンターとの協力で6月に「寸劇・個別相談会」を開催し、相談の掘り起こしを行った。10月からの3回コースで行った終活セミナーでは、10月に横浜住宅供給公社による「高齢者のための住まいのえらび方」、11月にエリアの郵便局協力のもと、家族想いグループの司法書士・税理士による「誰でもわかる相続対策」を開催、12月にはあんしんネットとの協力で「物と心の生前整理」を行い、それぞれ成年後見制度の説明を含めた内容になっている。また、11月に「新任ケアマネジャー研修」の中で、金沢区社会福祉士部会として他包括と共催で権利擁護・成年後見制度について新任ケアマネジャーに講座を開催した。

・消費者被害防止の取り組み

近隣の郵便局や銀行と随時情報交換を行い、顔の見える関係作りに努めた。9月には、坂本町内会にて「最近の消費者被害・金融機関の状況と対策」として神奈川県金融広報委員会の協力で講座を行った。

「あんしんして暮らすための10分講座」として月1～2回、地域交流事業の参加者に消費者被害の情報発信を行った。また、「ちょっとおじゃまします」では、月に1か所程度で地域のサロンに出向き、10分講座で消費者被害の情報発信を行っている。

② 高齢者虐待への対応

高齢者虐待の早期発見や予防・防止のため、日頃から民生委員や地域福祉関係者、ケアマネジャーや医療機関等との関係機関と顔の見える関係作りと相談しやすい体制を心がけた。今年度の虐待事例では、区やケアマネジャー、介護サービス事業所との情報共有を行い、必要に応じてカンファレンスを実施し、支援の方向性を確認しながら進めてきた。

虐待を身近に発見しやすいケアマネジャーと民生委員を対象に、「民生委員児童委員とケアマネジャーとの情報交換会」にて、高齢者虐待の定義や金沢区の虐待の統計などの説明を行った。高齢者虐待の正しい理解と孤立しない地域づくりを目指し、広報紙での呼びかけと横浜市のリーフレット配布を行った。

介護者のつどいでは、介護者のレスパイトケアや学びの場となるよう開催し、虐待防止のための正しい理解に努めた。

③ 認知症

出張講座やフェスタ等の中で、認知症に関するパンフレットの配布やミニ講話を行い、認知症に対する正しい理解の周知に努めた。認知症に関する取り組みは5職種で連携し行った。

「認知症サポーター養成講座」は、釜利谷保育園の年長さん・先生向けに1回、デイサービス「このはな」の職員向けに行った。また、高舟台小学校4年生向けに六浦地域ケアプラザと共催で行った。1月に関東学院大学金沢文庫キャンパスの学生に向けて西金沢地域ケアプラザと共催で実施。このほか、エリアの小学校4校・中学校2校に、独自で作成した「認知症サポーター養成講座を開催しませんか？」のチラシをお渡しし、副校長先生へ周知の協力を呼びかけた。

昨年度に引き続き、包括エリア内の「釜利谷認知症キャラバンメイト交流会」を開催し、情報交換や日頃の悩みや疑問等を話し合うことができた。今年度キャラバンメイトになった人から「他の活動を見てから講座をしてみたい」と声があり、他包括支援センター開催の講座を見学に同行するなど、今後の活動へつながる支援を行った。

認知症の人と家族が共に安心して過ごせる居場所（認知症カフェ）や家族の交流場所として「かまりやサロン」を月1回開催している。

地域住民向けに認知症についての予防に関する講演会として、今年度は栄養の講演会を開催し、認知症予防の普及啓発につとめた。

高舟台で、認知症初期集中支援チームについての周知のため、樹診療所との協力で講座を開催。

（3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

高舟台民生委員と年に一回情報交換会を行い、日頃の悩みや個別相談や情報共有が必要なケース等話し合いを行い 困難事例はネットワークの構築を図り、情報を共有し方向性を確認し支援を行った。12月に「高舟台健康づくりの会」にてオレンジサポートチームの出張講座をお願いし、介護保険制度の説明を行った。

釜利谷第一地区シニアクラブ友愛会・パークタウン自治会ふれあいの会にて「介護保険制度・包括ケアシステム」の説明を行った。

民生委員とケアマネジャーでは、「近隣から情報提供で民生委員と連携し家族支援に繋がったケース」を参考に、連携した顔の見える関係作りを行った。

サービス事業所・介護福祉施設との連携では、エリア内にある地域密着型の運営推進会議に参加している。「陽光の大地ケア24」介護・医療連携推進会議は3カ月に1回。グループホーム「金沢けやき園」「ちいさな手横浜かなざわ」「ほのぼのホーム」、「小規模多機能型ハウスふくふく釜利谷」は2ヶ月に1回。半年に1回、地域密着型通所介護の運営推進会議「E-CARE デイサービス釜利谷」「リハビリテーション颯」「HI パフォーマンズ」「美浜ホーム」4事業所に出席し、認知症対応型通称介護「デイサービス華」「やまゆり」「デイサービスふるさと釜利谷」に参加し地域関係者との連携構築に努めた。

インフォーマルサービス（介護・認知症予防活動等）や関係機関等の地域資源の情報収集・整理を行い、地域の多様な活動をまとめた「釜利谷みんなの情報シート」を生活支援コーディネーターと協力して作成し、民生委員やケアマネジャーに配布した。年に1回新しい情報収集を行い更新している。

昨年度の包括レベル地域ケア会議「みまーも」からの今後の取り組みとして、5職種で「これからも住み慣れた地域で安心して暮らしていく為に何があったらいいか」を検討し、ケアマネジャー・介護サービス事業所・民生委員・ボランティア団体で「か

まりや一の」を立ち上げ、テーマに添った話し合いの場を設け、ネットワークの構築と情報共有・必要な資源の検討「あいさつ運動」についてワーキンググループを開催し具体的取り組みについて話しあった。

②医療・介護の連携推進支援

ネットワーク構築のための取り組み

金沢区薬剤師会・金沢区在宅医療相談室・包括主任ケアマネジャー部会と「薬剤師と介護支援専門員との情報交換会」を開催し、多剤併用・ポリファーマシーをテーマとし薬剤師会とケアマネジャーとの相互理解、連携の為の情報交換を行い、医療と介護の円滑な連携をとるための検討を行った。

30年度の制度改正では医療との連携に重点が置かれている。包括ケアシステムの中でケアマネジャーと地域にある病院とでそれぞれの機能や役割を知り在宅にスムーズに戻れるよう「入院時・退院時情報共有シート」を活用できるよう情報共有を行った。また、「入院時・退院時情報共有シート」を活用し直接医療機関に持参し顔の見える関係づくりを行った。

医療・介護の連携・推進を図るための金沢区在宅医療相談室主催の事例検討会への参加や、事例提出の支援を行った。地域では「包括ケアシステム・介護保険制度」説明と在宅医療相談室と連携し地域で安心して生活できるよう、医科・歯科の情報提供を行った。

③ケアマネジャー支援

地域の事業所を訪問し、ケアマネジャーと顔のみえる相談しやすい関係づくりに努め「入院時・退院時情報共有シート」「連携ハンドブック」「釜利谷みんなの情報シート」の情報提供を行った。ケアマネジャーからの多問題・支援困難ケースについては、必要に応じて同行訪問や区と連携しカンファレンスを開催し、支援の方向性と目標設定を行い、課題解決の糸口を確認し、区役所や各相談機関と連携し支援した。サービス担当者会議には積極的に出席し、継続的な支援を心掛けた。

南部5包括で、ケースの支援方法とケアマネジメントの本質を学ぶ事例検討会を行った。

「要介護者の母と障害を抱える娘のケアマネジメント」障害者制度と高齢者制度の両制度の違いや利用の仕方を学んだ。

南部ブロック5包括主催「サロン南風」ではケアマネジャーのニーズを把握し6月に「精神障害を抱える方の生活を見守る」精神障害者生活支援センター「愛&あい」の活動の紹介や疾患を抱えた方への対応についての情報や手段を学んだ。11月は「ケアマネジャーの仕事は、どこまでやるの」と普段の業務で困っていることや対応などの情報共有を行った。

包括主任ケアマネジャー部会として「新任ケアマネ研修」を年3回に分けて行う。第2回目には「生活保護制度・生活困窮者支援制度」を学び多くの情報提供が出来るよう制度の研修を行った。

居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャー「ケース検討」進行方法等研修を行った。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

第三期までに個別地域ケア会議を1回開催した。地域の防犯パトロールの取り組みの話の伺い「地域にできたらいいな、こんなこと、こんなもの」をテーマとし包括レベル地域ケア会議を開催した。

情報や課題を共有し地域資源の開発ができるよう、地域住民、民生委員、自治会、ボランティア、介護事業所等の参加による「ワーキンググループ」に繋げる包括レベル地域ケア会議を開催し目標設定を行った。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

事業対象者や要支援者の方が住み慣れた地域で安心した生活が継続できるように、本人ができる事は出来る限り本人が行う事を基本とし、生活機能低下の背景・原因を分析し効果的な支援計画書を作成できるよう包括支援センター3職種や各事業所のOT、PT、Ns、相談員等と検討し、包括支援センターのプランナー、委託事業所のケアマネジャーに指導した。

本人が描いている生活についてアセスメントし、課題等を共有しながら必要なサービスにつなげたり、自治会館、町内会館で介護予防の取り組みが出来るよう働きかけ、介護予防の要素が少ない町内会に対しては、「支えあい連絡会」や出張講座にて、地域で介護予防に取り組んで成功している事例を紹介したり、中心になっている方の感想を公表して頂き、身近な場所で介護予防活動ができるよう支援した。また、生活支援コーディネーター、地域活動交流コーディネーターと共に「かまりやの」を立ち上げ、リハビリ専門職、ケアマネ、関係機関や地域のサロン、ボランティア、地域住民等と情報交換会を行いプランに反映できるよう支援した。

地域包括支援センターの3職種と予防プランナーで会議を持ち、プランや課題を常に共有し、包括支援センター事業で築いてきた資源、地域とのネットワーク、新たな社会資源の活用をプランに反映させ、介護保険サービス利用の他、地域資源活用を積極的に取り入れたプランとなるようにした。

委託ケースについては、原則、新規認定時、更新認定時の担当者会議に出席しケアプランについてアドバイスし、困難ケースについては区役所と情報共有し、必要に応じて同行訪問やカンファレンスを行い敏速に対応しました。特に新任ケアマネジャーが担当の場合は、事前に「介護予防支援業務の流れ」「モデルプラン」等についての個別指導を行い地域資源を活用したプラン作成が出来るよう指導した。

居宅介護支援事業所に対し、ケアマネジャー支援として「横浜市総合事業、介護予防ケアマネジメント」についての説明会を行った。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業
<p>ロコモシンドローム予防、認知症予防の介護予防講座を坂本町内会館、「栄養 講座」をケアプラザ、阿王ヶ台自治会館 シニアクラブ、宮ヶ谷町内会等で行い、高齢者の栄養について普及啓発を行った。</p> <p>「白山道元気づくりステーション」「こずみカフェ」「阿王ヶ台 スマイル」「パークタウン ふれあいの会」「高舟台」「宿 スクエアステップ」「ニューライフ サロン」に出張し、元気づくりステーションやサロンについて支援した。「公園 de 遊ぼう会 坂本第二公園」では世代間交流として、ダンスや体操、血管年齢測定、個別相談を実施し介護予防の普及啓発を行った。</p> <p>2ヶ月に1回、スリーA（脳活性化リハビリゲーム）やロコモシンドローム予防体操、音楽療法、脳トレ、栄養講座等を取り入れたミニデイをケアプラザで開催した。</p> <p>地域間の交流としては、白山道町内会の支援者が阿王ヶ台の元気づくりステーションで「太鼓」の指導、「高舟台」に阿王ヶ台元気づくりステーションの支援者が「スリーA」等、地域の交流も活発に行われている。「阿王ヶ台自治会館」「白山道町内会館」「小泉町内会館」で元気づくりステーション等を区役所と共に支援した。</p> <p>3回コースで1回/月 JA横浜 金沢支店で「数独&ストレッチ講座」を開催し脳トレや自宅でも続けられる筋トレ等をOT、PT、STに指導頂いた。</p>

5 その他

<p>地域の小学校、保育園等との交流や中学校の職業体験、個別支援学級の学生を積極的に受け入れ、地域ケアプラザならではの体験を提供した。各大学の実習生も受け入れ、福祉や地域づくりへの関心を高める活動を行った。</p>

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について
<p>乳幼児から高齢者まで様々な年代や障害のある方も利用する施設として、安全性の確保と快適性を維持するため、施設の設定備点検及び整備を定期的に行い、不具合が発見された場合は迅速に対応した。</p> <p>日常的な維持管理は職員が行い、専門的な保守管理は専門業者に委託して、計画的、定期的に行った。また、施設開設より17年経過する中、設備、備品の経年劣化が進んでいる。大規模修繕に至らぬよう、清掃、点検、保守を定期的に行う。専門業者による建物設備管理、建物清掃、環境衛生管理を計画的に実施した。</p> <p>年1回、施設管理者点検マニュアルを確認しながら施設を巡回し、機器等の作動状況や異常の有無を確認し記録している。併設施設「航」と協力して修繕を実施した。清掃については、毎日2名の専任スタッフにより適切に行った。また、施設内の植栽についても、定期的に手入れを実施した。</p>

(2) 効率的な運営への取組について

複合施設の利点を活かし、事務の一括処理、印刷機、電話回線、厨房機材等を共同使用することで効率的な運営を行った。また、法人で運営する地域ケアプラザと連携し、研修を合同で開催し同職種の学びを深め、講師料等についても按分とした。

職員一人ひとりがコスト意識を持ち経費削減に努め、節電、節水等に職員全員で取組み光熱費の削減に取り組んだ。

(3) 苦情受付体制について

運営法人の苦情解決に関する規則、実施要綱に則り、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員を設置している。

施設内に案内を掲示し、ご意見箱を設置し、地域の方、利用者、ご家族が気軽に要望や不満、意見を言いやすい環境づくりに取り組んだ。

苦情を受け付けた際は、迅速に対応し現場職員、苦情受付担当者、苦情解決責任者と一体となって誠実に対応し、今後の解決策、改善策を提示する。苦情の発生から解決までを記録に残し、職員全員が共有することで再発防止に努める。

年1回(11月)部署毎に利用者アンケートを行い、意見や要望を伺った。内容について部門ごとの会議で検討し、より良い地域ケアプラザ運営に活かした。

(4) 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

土砂災害警戒区域にある施設であるため、職員会議にて避難確保計画を皆で確認し、円滑かつ迅速な安全確保を図った。また、特別避難場所として速やかに開設できるよう、特別避難場所開設・運営マニュアルを会議で定期的に確認するとともに、災害時備蓄品の整備管理を適切に行った。(平成31年3月)

不審者へは全職員で対応に当たり、窓口では受付担当がチェックし、緊急時は、警備会社へ通報が行く体制を取り夜間は機械警備としている。

事務所内に緊急時の連絡体制、役割分担、関係機関の一覧表を掲示し、すぐに行動できるようにした。

ケアプラザ全職員を対象に10月に避難訓練、初期消火訓練を併設施設と合同で行った。また、利用者避難誘導訓練を2回/年実施し、3月には、3階の広場まで利用者避難の訓練を実施した。

貸館利用者には、定期的に避難経路を説明し、いざという時に備えていただいている。

(5) 事故防止への取組について

事故防止業務改善委員会の委員は多職種で構成されており、事例検討等リスクマネジメントに対する意識を高めている。

事故発生時はケアプラザ職員の臨時会議を開催し、事故原因の究明と対策の検討を行い、職員に周知を図った。また、区からの横浜市の事故状況通知も全員に回覧し共有した。必要な場合はマニュアルの変更を行った。

通所介護事業では毎月ヒヤリハット事例を検討し、事故防止に努めた。定期的な会議だけではなく日々の業務の中での職員一人ひとりの気づきも重要と考え、日常の業務の中で小さなこともヒヤリとしたことは見過ごさず報告し、ヒヤリハット報告の共有と職員のリスクマネジメントに対する意識を高めた。

施設内の設備についても、危険な箇所、予測される危険個所は、改修、修繕し事故防止に努めた。整理整頓に職員全員で取組んだ。

AED を館内に設置し緊急時に対応できるようにし地域の方には、支え合い連絡会等にて周知した。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

横浜市個人情報保護に関する条例、法人の個人情報保護方針に基づき、マニュアル等で個人情報の取扱いについての注意事項を定め、職員全員が遵守することによって引き続き利用者、関係者の個人情報の保護に万全を尽くした。

個人情報保護に関する通知文や事故報告は、必ず職員に配布、回覧し周知した。

個人情報は、施錠にて保管している。

年1回個人情報漏えい防止チェックリストを職員全員に配布し、日頃の業務を振り返る機会とし、今年度より職員全員の「個人情報保護に関する誓約書」の提出を行った。

個人情報保護統括責任者（事務局長）、個人情報保護責任者（所長）、個人情報管理者を置き、統括責任者の指示のもと個人情報の適正管理にあたった。

日々の取扱いは、マニュアルを作成し、確認表に必ず2名で確認押印し、誤送付などの事故を防止した。FAXの前に送信手順を大きく貼り出した。また、訪問時等の個人情報持ち出しは、ファイルに持ち出す内容を記載して管理している。

(7) 情報公開への取組について

事業報告、事業計画は、地域の皆様にも閲覧できるように窓口にファイルで設置し、ホームページにも掲載している。

介護サービス情報公表制度に基づき、毎年「基本情報」「調査情報」を公表している。

ホームページは、各部署ごとに更新し、事業情報等を周知した。

ケアプラザの広報誌「やまなみ」を3か月に1回、チラシを年7回発行し、町内会、郵便局、スーパー等に掲示、配布し、事業のお知らせだけでなく、近隣施設の事業案内も掲載した。

法人の個人情報の保護に関する規程に基づき、本人（家族）から個人データの開示の申出があった際は、開示した。（30年度1回あり）

(8) 人権啓発への取組について

法人の「倫理綱領」、地域ケアプラザの「倫理規定」、各部署の行動指針に基づいて行動し、全ての職員が人権問題を正しく理解し、自分の問題として捉えるよう人権研修を年1回、外部講師を招いて実施し、法人の全職員必須の研修として全員参加できるように2日間開催し、研修後にはアンケートを実施し、職員がどのように人権を捉え業務に活かそうとしているかを確認し、人権意識を高めた。

(9) 環境等への配慮及び取組について

横浜市ゴミゼロルート回収参加施設として、ごみゼロ推進運動に取組み、再利用、分別管理の徹底を図った。

省エネルギー対策として、空調の温度設定、照明のLED交換（長時間点灯箇所）を実施し消費電力の削減となった。

プリンターのインクカートリッジは、インクカートリッジ里帰りプロジェクトに参加し、再資源化に協力した。

施設敷地内には多くの植栽があり、通学路にも面しているため、景観維持ため定期的に専門業者に依頼し美観を保った。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

- ・ 管理者 1名（常勤：地域包括支援センター看護師と兼務）
- ・ 看護師 1名（常勤）
- ・ 主任ケアマネジャー 1名（常勤）
- ・ 社会福祉士 2名（常勤）
- ・ ケアマネジャー 3名（非常勤）

《目標に対する成果等》

高齢者が住み慣れた地域で、尊厳あるその人らしい生活を継続するために、地域の高齢者の心身の健康維持、介護予防・保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助・支援を包括的に行った。

《実費負担》

- ご利用者様の負担はなし。

《その他》

- ・ 委託ケースについては、担当者会議に出席し連携を図った。
- ・ ご利用者様には、委託契約や担当者会議等で直接お会いして顔の見える関係をつくることにより、担当ケアマネジャー等に苦情等がある場合は直接、包括支援センターに連絡頂けるようにした。
- ・ 担当者不在でも緊急時スムーズに対応できるよう、包括職員間で定期的にカンファレンスを行い情報共有した。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
234	244	241	241	246	250
10月	11月	12月	1月	2月	3月
251	260	260	249	256	253

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

平成 30 年度は以下の体制で実施した。
常勤 4 名（うち 1 名は管理者兼務）

《目標に対する成果等》

- ・ 住み慣れた地域でできる限り長くその人らしい生活ができるように、フォーマル・インフォーマルサービスを提案し支援した。
- ・ 自立に向けた明確な目標設定、達成度がわかりやすい個別性の高いプラン作成を行い、重度化の予防に努めた。
- ・ 情報共有や事例検討のために週 1 回以上会議や勉強会を行い、また多くの外部研修にも参加することで情報共有や知識を深め、ケアマネジャーの資質向上に努めた。

《実費負担》

- 利用者様のご負担はなし。

《その他》

- ・ 特定事業所加算Ⅱ算定（6月・7月のみ職員体制の関係で特定事業所加算Ⅲ算定）
- ・ 地域包括支援センターや区役所、病院等と連携・協働が特に必要な処遇困難な方や終末期の方などを積極的に担当し円滑な在宅生活を支援した。
- ・ 週 1 回以上の会議や内部の研修、事例検討会などを随時行い、その中で新規ケースや困難ケースについての情報共有や支援の方向性を相談することで、事業所全体で利用者を把握し、片寄りのないサービスを提供することができた。
- ・ 担当ケアマネジャーが不在でも他のケアマネジャーが迅速に対応でき、利用者を不安にさせない、待たせないサービス提供ができた。
- ・ 専用の携帯電話を持つことで、24 時間相談できる体制を確保した。
- ・ 外部研修への積極的な参加により、医療や福祉、制度等に対する幅広い知識と多職種とのネットワークづくりを行い、ケアマネジャーの資質向上に努めた。
- ・ 金沢区のケアマネジャー連絡会の代表として活動することで、行政や金沢区内の医療・福祉との連携を図り、金沢区全体のケアマネジャーの活性化に努めた。

《利用者実績》

【単位：人】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
110 (22)	110 (23)	105 (23)	106 (23)	104 (24)	107 (24)
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
107 (24)	110 (24)	108 (25)	109 (26)	109 (28)	109 (28)

● 通所介護・認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

● 基本サービス

- ①送迎サービス
- ②健康状況の確認
- ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
- ④レクリエーション・体操
- ⑤生活相談
- ⑥介護相談又は介護方法の指導等

● 加算サービス

- ①入浴介助加算
- ②個別機能訓練加算（Ⅱ）
- ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
- ④介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

● その他（個別提供）

- ①趣味活動・曜日毎の教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル、フラダンス体操
 - 水曜日・・・カラオケサークル、※脳活性サークル（平成30年度追加）
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵、クラフト制作 等
- ②行事
 - 花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、利用者忘年会
- ③イベント食
 - お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング、ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	692円
（要介護2）	816円
（要介護3）	947円
（要介護4）	1,076円
（要介護5）	1,205円

● 食費負担 700円

● 加算

- ①入浴介助加算・・・・・・・・・・54円
- ②個別機能訓練加算（Ⅱ）・・・・・・・・60円
- ③サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ・・・・・・・・20円
- ④介護職員処遇改善加算あり
- ⑤送迎をしなかった場合（片道）・・・-50円

● 自己負担割合2割の場合

（要介護1）	1,383円
（要介護2）	1,632円
（要介護3）	1,893円

- (要介護4)・・・2,151円
- (要介護5)・・・2,410円
- 食費負担・・・700円
- 加算
- ①入浴介助加算・・・108円
- ②個別機能訓練加算(Ⅱ)・・・120円
- ③サービス提供体制強化加算(Ⅰ)イ・・・39円
- ④介護職員処遇改善加算あり
- ⑤送迎をしなかった場合(片道)・・・-101円
- 介護用品使用時に実費
- ①リハビリパンツ 1枚・・・150円
- ②紙オムツ 1枚・・・200円
- ③尿とりパット 1枚・・・30円

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 09:20 ～ 16:30

《職員体制》

管理者	1人(常勤)
生活相談員	4人(常勤4人、介護職員兼務)
看護職員	5人(常勤1人、非常勤4人)
機能訓練指導員	5人(常勤1人、非常勤4人)
介護職員	22人(常勤4人、非常勤18人)
運転手	9人(非常勤)

《目標に対する成果等》

- 1) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努める。
毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全職員に周知し、検討し事故を防ぎ、事故件数は減少した。年に1回以上リスクマネジメントの研修に参加した。
- 2) ご利用者様が笑顔となり、意欲を持ち参加できるサービスを提供した。
趣味サークル活動などを固定の曜日に実施し、利用者が選択しやすいようにした。また、新しいサークル活動(脳活性化活動、制作クラブ)を導入し、参加者が意欲的に参加している。
スペシャルランチ等のイベント食を月に2回以上実施し、満足いく食事を提供した。
- 3) 関係機関と連絡、連携を密接に取り、質の高いサービスを提供した。
担当ケアマネージャへ利用状況を電話や書面にて報告し、関係を深めた。毎月の訪問を実施し利用者状況を伝えることができた。

《その他》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通し交流した。
- 2) 施設的环境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施。また、裏山の竹を利用し、流しそうめんを実施、ベランダのプランターでの園芸活動の実施。
- 3) 季節ごとの食事、「鍋パーティー」「バイキング食」「寿司パーティー」「懐石風料理」「年越し蕎麦(蕎麦打ち体験)」など様々なイベント食の提供を行った。
- 4) 季節の行事(花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会)を実施。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室を飾り季節を感じた入浴を提供した。

《利用者実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
669	658	638	669	676	617
10月	11月	12月	1月	2月	3月
683	682	640	651	643	721

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護

《提供するサービス内容》

●基本サービス

- ①送迎サービス
- ②健康状況の確認
- ③介護サービス（排泄介助・食事介助等）
- ④レクリエーション・体操
- ⑤生活相談
- ⑥介護相談又は介護方法の指導等

●加算サービス

- ①運動器機能訓練向上加算
- ②サービス提供体制強化加算（Ⅱ）
- ③介護職員処遇改善加算（Ⅰ）

●その他（個別提供）

- ①趣味活動・曜日毎の教室やクラブ活動
 - 月曜日・・・書道教室、絵手紙教室、体操教室
 - 火曜日・・・手作りおやつサークル、麻雀サークル
 - 水曜日・・・カラオケサークル
 - 木曜日・・・絵手紙教室、折紙教室、珈琲サークル
 - 金曜日・・・体操教室、音楽教室
 - 土曜日・・・カラオケサークル
 - 日曜日・・・麻雀サークル
 - 毎日・・・館内散歩、囲碁、将棋、大正琴、ピアノ、塗絵、貼絵クラフト制作

●行事

花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会

●イベント食

お楽しみランチ（2回/月）、流しそうめん、昼食バイキング、ケーキバイキング、駅弁、母の日・父の日お祝い膳、お鍋、握りずしパーティー、年越しそば 等

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

- （要支援1）・・・・・・・・・・1,776円
- （要支援2）・・・・・・・・・・3,621円

●食費負担 700円

●加算

- ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・・・・・・・・78円
 - （要支援2）・・・・・・・・・・155円
- ②運動器機能向上加算 ・・・・・・・・・・242円
- ③介護職員処遇改善加算あり

●自己負担割合2割の場合

- （要支援1）・・・・・・・・・・3,531円
- （要支援2）・・・・・・・・・・7,241円
- 食費負担 ・・・・・・・・・・700円
- 加算
 - ①サービス提供体制強化加算（Ⅰ）イ
 - （要支援1）・・・・・・・・・・155円

(要支援2)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 309 円

②運動器機能向上加算・・・・・・・・・・・・・・・・ 242 円

③介護職員処遇改善加算あり

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 09：20 ～ 16：30

《職員体制》

管理者 1人（常勤）
生活相談員 4人（常勤4人、介護職員兼務）
看護職員 5人（常勤1人、非常勤4人）
機能訓練指導員 5人（常勤1人、非常勤4人）
介護職員 22人（常勤4人、非常勤18人）
運転手 9人（非常勤）

《目標に対する成果等》

- 1) 安心・安全を第一に、サービスの向上に努めた。
毎月のデイサービス職員会議にてヒヤリハットを全職員に周知し、検討し事故を防ぎ、事故件数は減少した。年に1回以上リスクマネジメントの研修に参加した。
- 2) ご利用者様が笑顔になれ、意欲を持ち参加できるサービスを提供した。
趣味活動等を固定の曜日に実施し、ご利用者が選択しやすいようにした。また、新しいサークル活動（脳活性化活動、制作クラブ）を導入し、参加者が意欲的に参加している。スペシャルランチ等のイベント食を月に2回以上実施し、満足いく食事を提供した。
- 3) 関係機関と連絡、連携を密接に取り、質の高いサービスを提供した。
担当ケアマネージャへ利用状況を電話や書面にて報告し、関係を深めた。毎月の訪問を実施し利用者状況を伝えることができた。

《その他》

- 1) 地域の施設、小学校や保育園とレクリエーションなどを通し交流した。
- 2) 施設的环境を活かし、山を見ながら屋上までの館内散歩を毎日実施。また、裏山の竹を利用し、流しそうめんを実施、ベランダのプランターでの園芸活動の実施。
- 3) 季節ごとの食事、「鍋パーティー」「バイキング食」「寿司パーティー」「懐石風料理」「年越し蕎麦（蕎麦打ち体験）」など様々なイベント食の提供を行った。
- 4) 季節の行事（花見、運動会、敬老会、秋祭り、クリスマス会、忘年会）を実施。
- 5) 毎月、入浴週間を設け、浴室を飾り季節を感じた入浴を提供した。

《利用者実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
107	124	110	105	116	117
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	106	96	97	99	96

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ピラティス教室	地域	244,620	地活	83,020	161,600	0	198,112	0	46,508
	260名		包括	0					
	600円		介護	0					
			生活	0					
月曜日には体操を	中高年	60,000	地活	13,200	46,800	0	60,000	0	0
	158名		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					
放課後活動「かまりやクラブ」	学齢障がい児	16,597	地活	11,197	5,400	0	0	0	16,597
	64名		包括	0					
	200円		介護	0					
			生活	0					
ゴスペル教室	地域	267,288	地活	71,638	195,650	0	267,288	0	0
	214名		包括	0					
	1000円(障がい者150円)		介護	0					
			生活	0					
釜利谷親子ほっとサロン	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	498名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
車椅子の貸し出し	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	42名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
かのん保育園との交流	保育園児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	149名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
もんきっきクラブ全5回	2～3歳児親子	35,911	地活	25,511	10,400	0	33,411	0	2,500
	55名		包括	0					
	1,600円		介護	0					
			生活	0					
プラレール広場	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	131名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
一緒に歌を歌いましょう	地域	93,540	地活	26,340	67,200	0	93,540	0	0
	142名		包括	0					
	400円		介護	0					
			生活	0					
かまもりホルダー	65歳以上	51,194	地活	0	73,400	0	0	51,194	0
	359名		包括	0					
	200円		介護	0					
			生活	0					
きぐちゃんのからだ遊び・こころ遊び「麦わら帽子クラブ」	1～4歳児親子	73,502	地活	63,702	9,800	0	73,502	0	0
	70名		包括	0					
	400円		介護	0					
			生活	0					

ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
フェスタボラ&貸館交流会	貸館利用者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	11名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
はぐくみ会	子育て支援者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	39名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
カモミール	障がい児を持つ親	0	地活	0	0	0	0	0	0
	119名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
ママと赤ちゃんのたいそう&ストレッチ	0歳児親子	40,092	地活	31,292	8,800	0	40,092	0	0
	49名		包括	0					
	400円		介護	0					
			生活	0					
親子3B体操教室	2~4歳児親子	73,502	地活	63,302	10,200	0	73,502	0	0
	76名		包括	0					
	400円		介護	0					
			生活	0					
はりねずみのお針箱&和ティーサロン	中高年	10,164	地活	1,432	7,300	0	0	10,164	0
	76名		包括	1,432					
	100円		介護	0					
			生活	0					
すみなすフェスタ	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	800名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
地域支えあい連絡会	地域支援者等	23,842	地活	23,842	0	0	0	0	23,842
	96名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
おはなし会	未就園児親子	11,691	地活	11,691	0	0	11,691	0	0
	42名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
びよんたクラブ	1~6歳児親子	86,184	地活	74,684	11,500	0	80,184	0	6,000
	84名		包括	0					
	300円		介護	0					
			生活	0					
あんしんして暮らすための10分間講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	286名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
横浜市釜利谷保育園との交流	保育園児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	41名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					

ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
かまりや英語クラブ	障がい児者と家族	55,680	地活	39,730	15,950	0	55,680	0	0
	56名		包括	0					
	350円		介護	0					
			生活	0					
盆踊りふるさと民踊	中高年	33,410	地活	14,210	19,200	0	33,410	0	0
	98名		包括	0					
	200円		介護	0					
			生活	0					
つながりの会	サロン主催者	1,963	地活	0	0	0	0	0	1,963
	17名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	1,963					
かまりや一の	地域	6,289	地活	2,096	0	0	0	6,289	0
	80名		包括	2,097					
	0円		介護	0					
			生活	2,096					
横浜市大ボランティア講座	大学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	86名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
ほっとタイム	高齢者	7,376	地活	0	0	0	0	651	6,725
	42名		包括	7,376					
	0円		介護	0					
			生活	0					
介護者のつどい	介護者	12,004	地活	0	0	0	0	0	12,004
	38名		包括	12,004					
	0円		介護	0					
			生活	0					
かまもりホルダー出張登録会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	227名		包括	0					
	200円		介護	0					
			生活	0					
パーキンソン病交流会「やまゆり会」	当事者と家族	8,150	地活	0	0	0	0	5,150	3,000
	17名		包括	8,150					
	0円		介護	0					
			生活	0					
ちょっとおじゃまします	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	142名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
かまりやサロン	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	75名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
寸劇で学ぶ！終活講座 & 個別相談会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					

ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
1歳児向け親子たいそう遊び全5回	1歳児親子	33,411	地活	27,811	5,600	0	33,411	0	0
	28名		包括	0					
	1,600円		介護	0					
			生活	0					
釜利谷南小学校3年生まちを知ろう	小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	56名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
サマーフレンド(9館合同)	障がい児	3,660	地活	3,660	0	0	0	0	3,660
	64名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
横浜子育てサポートシステム入会説明会	養育者等	0	地活	0	0	0	0	0	0
	34名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
かまりやボランティアポイント「ひこうき」	障がい者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
釜利谷親子すくすく広場	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	160名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
太極拳体験講座	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	65名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
医療講演会「検査数値を読み解く～エコー検査で見つかる病気」	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	6名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
釜利谷地域ケアプラザ認知症キャラバン・メイト交流会	キャラバンナイト	0	地活	0	0	0	0	0	0
	5名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
くらしの教室	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	17名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
出張講座パークタウン	パークタウン自治会	0	地活	0	0	0	0	0	0
	43名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
実習生受け入れ関東学院大学	大学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	15名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					

ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
地域でできること 私たちに できること講演会もっと知り たい！知的障がい・発達障 がいのある人にどう接す る？どう声をかける？？ 「教えてわっしょいさん！」	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	24名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
家族で地域で子育て孫 育てたまご(他孫)育て	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	18名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
医療講演会「リハビリ体 操今日からできる健康体 操～いつまでも自分の 足であるために～」	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	19名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
ウォーキング講習会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	26名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
高舟台小学校4年2組	小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	90名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
手話ダンスとミニコン サートを楽しむ会	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	47名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
親子de体操	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	42名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
野菜たっぷり・塩分控え め	地域	0	地活	0	0	0	0	0	0
	18名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
フレンドリースペース金 沢(不登校生等)受け入 れ	不登校児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	1名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
職業体験富岡中学校	中学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	3名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
「デイサービスこのはな」 認知症サポーター養成 講座	事業者と職員	0	地活	0	0	0	0	0	0
	11名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
「釜利谷保育園」認知症 サポーター養成講座	保育園児と職員	1,806	地活	602	0	0	0	1,806	0
	20名		包括	602					
	0円		介護	0					
			生活	602					

ごとに別紙に記載してください。

平成30年度 自主事業収支報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
「高舟台小学校4年生」 認知症サポーター養成 講座	小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	98名		包括	0					
	0名		介護	0					
			生活	0					
瞑想体験教室	地域	24,462	地活	8,262	16,200	0	17,818	0	6,644
	27名		包括	0					
	600円		介護	0					
			生活	0					
簡単ストレッチ講座	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	48名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
森の小道やまなみ	地域	32,779	地活	3,393	22,600	0	0	28,027	4,752
	82名		包括	3,393					
	300円		介護	0					
			生活	3,393					
親子音楽会	未就園児親子	0	地活	0	0	0	0	0	0
	68名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
よこはまシニアボランティ ア登録研修会	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	6名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
「関東学院大学金沢文 庫キャンパス」認知症サ ポーター養成講座	大学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	142名		包括	0					
	0円		介護	0					
			生活	0					
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						
			地活						
			包括						
			介護						
			生活						

平成30年度 自主事業報告書

横浜市釜利谷地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピラティス教室	<p>ピラティスを通して日頃の健康づくりに役立てていただくとともに、将来的にはボランティアとしても活動していただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピラティス教室 	毎月・年20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
月曜日には体操を	<p>日頃の生活の中でも続けられる動きを中心に指導いただき、介護予防、身体機能維持、腰痛・膝痛予防に役立てていただくとともに、参加者同士の交流、職員に気軽に相談ができる環境や情報収集の場の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体操教室 	毎月・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
放課後活動「かま りやクラブ」	<p>小・中学校の個別支援学級と養護学校高等部に通う児童を対象に、ボランティア活動と子ども同士の交流、多世代のボランティアとの交流の場を提供することで、社会に出る準備の場とする。また、障がい児向けボランティア育成の場ともする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい児のボランティア活動 ・フリースペース 	毎月・年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ゴスペル教室	<p>声を出すことによる心身の健康づくりと、障がい者・健常者・あらゆる世代の方がゴスペルを通してひとつになる場とする。また英語の歌詞により異言語による脳の活性化にも役立てる。また、ボランティア育成の場ともしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子サロン ・ミニイベント 	毎月・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
釜利谷親子ほっと サロン	<p>同世代の子を持つ親同士の交流の場と、関係機関が協働しサロンを開催することで広い視野での情報提供と相談の場の提供を行う。また地域のニーズを拾う場ともする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子サロン ・ミニイベント 	毎月・年11回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
車椅子の貸し出し	介護支援を目的とする。 ・車椅子の貸し出し（2週間以内）	随時・4回（42名）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かのん保育園との交流	異世代交流と福祉教育を目的とする。 ・園児とデイサービス利用者との交流 ・園児による手作りカレンダーの受け取り	毎月・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
もんきつきクラブ全5回	”赤ちゃん”の時期が終わり個人差が出てくる時期に、成長の違いを感じながらも自分のペースを守りながらの教室参加や、他者からの影響を受けることを目的とした参加、と個々に合わせた参加の場とし、次の段階へ繋げる場ともしたい。また、乳幼児を持つ母親の社会資源としての活躍の場としても機能させる。 ・親子体操 ・リトミック ・母親向け体操 ・読み聞かせ	春期、夏期・年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
プラレール広場	集団で協力しながらひとつのものを作る喜びを知っていただくとともに、保護者同士および多世代交流の場とする。男性ボランティアの活動の場ともしている。 ・プラレール遊び	隔月・年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
一緒に歌を歌いましょう	歌を歌うことを通しての健康維持と、参加者同士の交流、職員に気軽に相談できる環境や情報収集の場の提供を行う。 ・童謡・唱歌・流行歌を中心とした歌の教室 ・ストレッチ	毎月・年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かまもりホルダー	身元確認を行うシステムを提供することにより、緊急時に迅速な対応に繋げるとともに、ホルダーを持つことによる安心感を提供する。また、登録にケアプラザにお越しいただくことで、新たな顔の見える関係を築きサービスの提供にも繋げていく。 ・釜利谷地域ケアプラザでの「見守りホルダー」の受付	随時・年4回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きぐちゃんのからだ遊び・こころ遊び「麦わら帽子クラブ」	<p>子どもの自主性、自発性を尊重し、子ども自身が動くことを学び、動きを通して、からだ・あたま・こころの調和のとれた発達を援助する。障がい児は優先的に受け入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ムーブメント ・絵本のよみ遊び 	毎月・年11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フェスタボラ&貸館交流会	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアへの意識付けと貸館利用団体同士の情報交換 ・ボランティア活動 ・貸館利用団体同士の情報交換 ・貸館利用について 	5月・2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はぐくみ会	<p>子育て支援者・相談者同士の事例検討や、講師を招き勉強会を開き地域住民からのさまざまな相談に対応できるようにするとともに、ここで得た情報や知識をそれぞれが関わる親子の支援にもつなげていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てについての勉強会 	毎月・年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
カモミール	<p>釜利谷エリアを中心とした障がい児を持つ保護者の支援を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がいのある子を持つ母親の情報交換等 	毎月・年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ママと赤ちゃんのたいそう&ストレッチ	<p>乳児を持つ母親の健康づくりと”楽しむ子育て”を知っていただく場とし、心身のリラックスとともに閉じこもりがちなこの時期を同じ乳児を持つ親同士が交流することで、悩みや楽しみを共有する場とする。また、子育て支援ボランティアの活躍・育成の場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母親向け体操 ・親子のふれあい遊び ・親子でのリラクゼーション 	四半期・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子3B体操教室	<p>2～3歳児親子を対象に健康づくりの場を提供するとともに、あいさつや順番といったことも意識して教室に取り入れ、社会に出る第一歩としての機能も持たせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子体操(3B体操) ・母親向け体操 	毎月・年11回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
はりねずみのお針箱&和ティーサロン	<p>中高年の方同士の交流や地域資源の発掘をする場として機能させるとともに、将来的にはミニデイ的な機能を持たせた場ともしたい。またスープを提供することで、孤食がちな日常から皆で食事をする楽しさも味わっていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手芸サロン ・おしゃべり会 ・ミニ会食 ・相談援助 	隔月・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
すみなすフェスタ	<p>地域に向けての施設の周知と、地域と施設の交流や地域の活動の場の提供を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェスタ ・体力・健康測定 等 	6月・1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域支えあい連絡会	<p>日常生活圏において「誰もが地域で安心した生活を送る」ために、地域の困りごと、援助してもらいたいことを地域の中で拾い上げ、地域の中でささえていくことを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人口についての意見交換 ・情報交換 	四半期・年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなし会	<p>子どもたちが発達していく過程で心の豊かさを育むとともに、家庭内においての読み聞かせや遊び等の参考にさせていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ ・わらべ唄 ・パネルシアター ・手遊び 	四半期・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
びよんたクラブ	<p>1歳から6歳までの、子どもとしては幅広い年齢層対象での親子体操を開催することで、子ども間での異世代交流の場を提供するとともに、保護者間での先輩ママとの交流を通じて悩みや楽しさを共有できる場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ふれあい体操 ・母親向け体操 ・絵本の読み聞かせ 	四半期・年7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あんしんして暮らすための10分間講座	<p>地域活動交流が主催する教室等に、不定期に包括の職員が教室開始10分の間に、消費者被害や空き巣、交通安全等の情報提供を行うなどし、暮らしの安全に役立てていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通安全、消費者被害、オレオレサギに合わないための注意喚起。 	通年・年17回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市釜利谷保育園との交流	異世代交流と福祉教育を目的とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・園児とデイサービス利用者との交流 ・園児による歌の披露 	半期・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かまりや英語クラブ	外国語の習得を通じて世界を広げていただくとともに、交流の場ともしていただく。 <ul style="list-style-type: none"> ・英会話 ・英語遊び 	毎月・年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
盆おどりとふるさと民踊	盆おどりを通して心身の健康維持、認知症予防、仲間作りの場としていただきたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ ・盆おどり ふるさと民踊 	毎月・年10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
つながりの会	釜利谷の担当地域で活動されているボランティアグループの情報交換を主な目的とした交流会の開催。 <ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動されているグループ同士の情報交換や交流の場 	春期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かまりやの	「これからも住み慣れた地域で安心して暮らしていくにはなにがあったらいいか」を地域全体で話し合い実現していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールの取り組みについて ・「地域について」をテーマとしたグループワーク ・ワーキンググループ「あいさつ運動」 	四半期・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜市大ボランティア講座	大学に広くボランティア活動の啓発を行い、ボランティア活動を行うきっかけをつくり、ボランティア活動者の養成・獲得を目指すとともに、社会教育の一環ともしたい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動についての講義 ・活動者の話し ・活動先の紹介 ・体験実習 ・報告会（振り返り） 	春期・年3回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ほっとタイム	<p>気軽に楽しく参加できる交流の場。体操・認知症予防ゲーム・音楽、口腔ケア、終活など月によってさまざまなレクリエーション、会食などの活動を通して楽しく過ごす場。住民が交流を深めることで地域の中で顔見知りの関係ができ、孤立を防止し生きがいづくりや社会参加、介護予防を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌 ・スリーA ・お茶会 ・骨密度測定 ・骨粗鬆症講座 	隔月・年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	<p>介護者同士が日頃の介護を通じての介護者の思いの共有や情報交換を行う場の共有とともに、地域ケアプラザから介護者に対して必要な情報や支援を提供できる場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お茶を飲みながらのおしゃべり会 ・太極拳 ・映画観賞会 ・口を鍛えていつまでもおいしく食べよう～飲み込みの仕組みと口の体操～ 	各月・年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かまもりホルダー出張登録会	<p>地域に出向いて”かまもりホルダー登録会”を開催することで、身近な場所で身元確認を行うシステムを提供するとともに、ケアプラザ事業の周知や顔の見える関係づくり、サービスの提供にも繋げていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤井町内会、赤井北部町内会、阿王ヶ台自治会、宿町内会、小泉町内会、ニューライフ自治会、高舟台自治会、ウッドパーク 	随時・年9回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パーキンソン病交流会 「やまゆり会」	<p>情報交換や交流を通して疾病への知識を深めるとともに、当事者や家族が地域で支え合う場とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業療法士・音楽療法士による講義と交流会 ・情報交換と勉強会 	半期・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ちょっとおじゃまします	<p>地域包括支援センターと地域活動交流の職員が町内会のサロン等に気軽に立ち寄り、5分間程度地域住民目線で、消費者被害や空き巣、交通安全の情報提供や消費者被害、詐欺、空き巣、交通事故等に遭わないための話しや交流を図ってくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤井おしゃべり会 ・こずみカフェ ・やまゆり 	不定期・年9回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かまりやサロン	参加者がさまざまな情報が得られ、心理的な不安の軽減・心のよりどころとなる場所の提供。サロンに向くことで地域や社会とつながり、友人や仲間づくりの場を作る。また、医療、福祉、介護の専門職とつながることで認知症の方の変化に早く気づき適切な処置を受けることができる。 <ul style="list-style-type: none"> ・相談 ・情報交換 ・交流の場の提供 	毎月・年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
寸劇で学ぶ！終活講座&個別相談会	寸劇と講座を通して、相続・遺言・成年後見制度について学ぶ場を提供する。 <ul style="list-style-type: none"> ・相続・遺言・成年後見制度についての寸劇と講座 ・個別相談会 	春期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
1歳児向け親子たいそう遊び全5回	”赤ちゃん”の時期が終わり、発育・発達の個人差が出てくる時期に、同年齢の中で比較することなくわが子の成長を見守れる場とする。 <ul style="list-style-type: none"> ・母親向け健康体操 ・親子ふれあい体操 	夏期・年5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
釜利谷南小学校3年生まちを知らう	社会科の授業として、ケアプラザの機能や施設について学ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・ケアプラザの機能についての学習 ・デイサービスの見学 ・福祉用具体験 	夏期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマーフレンド (9館合同)	学齢期障がい児の余暇支援を行うとともに、障がい児をサポートするボランティアの育成および福祉体験学習の場としても機能させる。また、区社協、区内9地域ケアプラザの協働で事業を展開することで、金沢区の障がい児支援事業の更なる向上をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> ・夏祭り ・マリンシャトル乗船 ・参加者・ボランティア顔合わせ会 ・ボランティア活動報告会 	夏期・年4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
横浜子育てサポートシステム入会説明会	地域の中で子どもを預けたい人と預かる人をつなぐことで人と人のつながりを広げ、地域全体で子育てを応援する仕組みを築く。 <ul style="list-style-type: none"> ・「子育てサポートシステム」入会説明会 	半期・年2回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
かまりやボランティアポイント「ひこうき」	ボランティア活動を通して身近な社会のしくみの体験とライフスキル支援を目的とする。 ・館内清掃	随時・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
釜利谷 親子すくすく広場	地域の複数の関係機関の共催により開催することで、子育て中の保護者の方に、さまざまな子育て支援があることを知っていただくとともに、子育てサークル入会のきっかけとし、子育て支援及び社会からの孤立を防止する。 ・保育士の先生と一緒に全体遊び ・お絵かき ・育児サークル紹介	9月・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
太極拳体験講座	太極拳を通じて地域の方の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。また、新たな活動の場のきっかけともする。 ・太極拳教室	夏期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会「検査数値を読み解く～エコー検査で見つかる病気」	エコー検査で見つかる病気を知っていただくことで、気軽に受診や検査を受けていただき、病気の早期発見に繋げたい。 ・「検査数値を読み解く～エコー検査で見つかる病気」の講演会	夏期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
釜利谷地域ケアプラザ認知症キャラバン・メイト交流会	釜利谷地域ケアプラザ担当エリア内のキャラバン・メイト同士の交流会。情報交換や交流を通して、よりよい活動に繋げていく。 ・キャラバン・メイト有資格者の交流・情報交換会。	夏期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
くらしの教室	くらしに役立つ情報を発信する。振り込め詐欺、空き巣、悪質商法の手口と対策等を発信することで、被害を未然に防ぐとともに、ケアプラザが身近な相談窓口であることを広めたい。 坂本町内会：最近の消費者被害についての周知を行うとともに、それについての金融機関の状況と対策についても伝える。	夏期・年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張講座 パークタウン	<p>地域に出向き介護予防の啓発と介護保険等、地域に応じた内容で講座を行うとともに、ケアプラザの周知と地域の方との交流を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険申請からサービスの流れまで。 ・在宅医療について 	夏期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実習生受け入れ 関東学院大学	<p>相談援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し、関連分野の専門職の連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解し体得する。</p> <p>地域看護活動の対象としての個人・家族・集団および地域・コミュニティの特性や健康課題の理解とともに、地域ケアプラザの事業や担当職種を理解し地域包括ケアシステムの構築に果たす役割を考察する視点で、地域ケアプラザ内5部門を体験する。</p>	夏期・年15回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域でできること 私たちにできること 講演会 もっと知りたい！ 知的障がい・発達障がい 障がいのある人にどう接する？どう声をかける？「教えてわっしょいさん！」	<p>講演会を通して、障がい者理解と支援者の育成を目的とする。また、「地域でできることや自分自身にできること」を考えるきっかけともしたい。</p> <p>「知的障がい者の行動の理解と接し方」についての講演会。</p>	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
家族で地域で子育て 孫育てたまご (他孫)育て	<p>子育ての方法が今と昔では大きく変化している中で、家族でできること、地域でできることを考え知っていく。</p> <p>「子育て・孫育て・他孫育て」に関する講演会。</p>	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
医療講演会 「リハビリ体操 今日からできる健康体操～いつまでも自分の足で歩くために～」	<p>ロコモ予防の方法を知っていただき、いつまでも自分の足で歩くことにより、健康寿命を延ばしていただきたい。</p> <p>「ロコモ予防」についての講演会。</p>	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ウォーキング講習会	<p>ウォーキングにより心身の健康づくりを意識していただくとともに、仲間づくりの場としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーキング講習会 ・基礎知識の講義とウォーキング実践 	秋期・年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高舟台小学校 4年2組	ケアプラザの設置目的や機能について学んでいただき、ケアプラザや福祉についての理解を深めていただく。 1回目：ケアプラザについての説明と福祉についての話し合い 2回目：デイサービスの見学と利用者との交流	秋期、冬期・年3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手話ダンスとミニコンサートを楽しむ会	高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。 手話ダンスと音楽鑑賞。	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子 de 体操	お子さんと一緒に体操やダンスをしながら、育児中の母親の体のこりや痛みを和らげ、心身ともにリフレッシュしていただく。 親子体操・ダンス・ストレッチ・手遊び。	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
野菜たっぷり・塩分控えめ	塩分控えめの食生活を意識していただくことで、健康維持に努めていただきたい。 ・会食 ・調理法の実習 ・栄養講座	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
フレンドリースペース金沢（不登校生等）受け入れ	不登校生をボランティアとして受け入れ、社会に出る準備の支援を行う。 障がい児へのボランティア活動。	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
職業体験 富岡中学校	将来の進路決定に向けて、福祉の現場での職業体験を通して、広い視野で真剣に臨む心の育成と社会を知るきっかけとしていただく。 デイサービスでの体験。	秋期・年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「デイサービスこのはな」認知症サポーター養成講座	<p>デイサービスこのはなの職員を対象に認知症サポーター養成講座を開催することで、日常の業務に活かしていただくとともに、この講座をきっかけに、地域の支援者としても活躍していただく。</p> <p>認知症サポーター養成講座。</p>	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「釜利谷保育園」認知症サポーター養成講座	<p>釜利谷保育園の年長児と保育士を対象に、おはなしや紙芝居を通して高齢者や認知症の方の理解につなげる。</p> <p>認知症サポーター養成講座。</p>	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「高舟台小学校4年生」認知症サポーター養成講座	<p>高舟台小学校4年生と先生を対象に、講義、DVD鑑賞、クイズを通して高齢者や認知症の方の理解につなげる。</p> <p>認知症サポーター養成講座。</p>	秋期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
瞑想体験教室	<p>体力に合わせて参加できる瞑想を通して、心身の健康維持に役立てていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瞑想教室 	冬期・年2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
簡単ストレッチ講座	<p>高齢者の健康づくりと交流の場の提供を目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・椅子に座って行うストレッチ教室 	冬期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
森の小道やまなみ	<p>サロンを開催することにより、食・居場所・世代を越えた交流の場の提供を行うとともに、ボランティア育成やケアプラザを身近な相談の場として知っていただく機会ともしたい。また、学生の職業体験・福祉体験・社会体験の場としても機能させたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会食 ・フリースペース ・相談 ・獅子舞の披露 	1月・年1回

平成30年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子音楽会	<p>小さなお子さんと保護者を対象に、身近で本格的な音楽に触れる機会と、気兼ねなく音楽を楽しんでいただく場の提供を行う。また地域とのつながりをつくる場としたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ、バイオリン、オーボエ演奏を楽しむ 	冬期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティア登録研修会	<p>生活圏でシニアボランティア登録会を開催することで、ボランティアの啓発に努めるとともに、ボランティア活動を身近に感じていただく機会としたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シニアボランティアポイント登録説明会 	冬期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「関東学院大学金沢文庫キャンパス」認知症サポーター養成講座	<p>関東学院大学社会学部の学生と地域の方を対象に、講義、活動報告などを通して、認知症とその家族への理解につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症サポーター養成講座。 	冬期・年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数

平成30年度「壺谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(一般会計)<地域活動>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	15,444,175		15,444,175	20,547,679	△ 5,103,504	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
指定管理料充当 事業			0	0	0	
自主事業収入			0	619,950	△ 619,950	この列は入力しない
雑入	0		0	14,777	△ 14,777	
印刷代			0	7,000	△ 7,000	コピー代
自動販売機手数料			0	0	0	この列は入力しない
駐車場利用料金収入			0	0	0	この列は入力しない
その他(指定管理料充当)			0	7,777	△ 7,777	預金利息等
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500		3,587,500	
その他(提案時控除 法人負担分)	580,000		580,000		580,000	
収入合計	19,611,675	0	19,611,675	21,182,406	△ 1,570,731	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,701,000		11,701,000	12,028,604	△ 327,604	
本俸	9,500,000		9,500,000	8,099,179	1,400,821	
社会保険料	1,030,000		1,030,000	1,050,667	△ 20,667	
手当計	900,000		900,000	2,705,060	△ 1,805,060	
健康診断費	15,000		15,000	15,876	△ 876	
勤労者福祉共済掛金	6,000		6,000	6,000	0	ハマふゆんぶ
退職給付引当金繰入額	100,000		100,000	101,760	△ 1,760	年金共済引当金
その他	150,000		150,000	50,062	99,938	福祉医療機構共済
事務費	1,931,000		1,931,000	1,402,083	528,917	
旅費	6,000		6,000	5,340	660	交通費
消耗品費	350,000		350,000	175,418	174,582	事務用品等
会議随費	35,000		35,000	0	35,000	
印刷製本費	350,000		350,000	185,948	164,052	広報誌印刷代等
通信費	350,000		350,000	222,368	127,632	電話代等
使用料及び賃借料	0		0	15,327	△ 15,327	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	15,327	△ 15,327	
備品購入費			0	413,576	△ 413,576	消耗品購入
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	78,000		78,000	118,023	△ 40,023	
職員等研修費	5,000		5,000	3,060	1,940	
振込手数料	2,000		2,000	42,402	△ 40,402	
リース料	15,000		15,000	0	15,000	
手数料	35,000		35,000	0	35,000	
地域協力費	5,000		5,000	0	5,000	
その他	700,000		700,000	220,621	479,379	
事業費	942,675		942,675	1,245,862	△ 312,488	
運営協議会経費	42,000		42,000	32,699	9,301	予算-指定額
指定管理料充当 事業	900,675		900,675	1,213,163	△ 312,488	
管理費	4,101,000		4,101,000	5,543,569	△ 4,042,569	
建築物・建築設備点検	35,000		35,000	0	35,000	予算-指定額
光熱水費	2,600,000		2,600,000	4,273,790	△ 4,273,790	
電気料金				4,273,790	△ 4,273,790	
ガス料金				0	0	この列は入力しない
水道料金				0	0	
清掃費	330,000		330,000	332,590	△ 2,590	
修繕費	474,000		474,000	88,047	385,953	予算-指定額
機械整備費	45,000		45,000	44,350	650	
設備保全費	617,000		617,000	660,327	△ 43,327	
空調衛生設備保守	200,000		200,000	199,646	354	
消防設備保守	65,000		65,000	87,525	△ 22,525	
電気設備保守	50,000		50,000	110,603	△ 60,603	
害虫駆除清掃保守	32,000		32,000	30,239	1,761	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	270,000		270,000	232,314	37,686	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	144,465	△ 144,465	
公租公課	936,000	0	936,000	962,288	△ 26,288	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	936,000		936,000	962,288	△ 26,288	
印紙税				0	0	この列は入力しない
その他()				0	0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分				0	0	この列は入力しない
当該施設分				0	0	この列は入力しない
二一対対応費				0	0	この列は入力しない
支出合計	19,611,675	0	15,510,675	21,182,406	△ 4,180,032	
差引	0	0	4,101,000	0	2,609,301	

自主事業費収入	900,675		900,675	0	900,675	
自主事業費支出	900,675		900,675	0	900,675	
自主事業収支	0	0	0	0	0	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

平成30年度「釜利谷地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書(特別会計)

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	28,377,902		28,377,902	26,229,955	2,147,947	横浜市より
指定管理料(介護予防)	150,000		150,000	117,897	32,103	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000		5,789,000	5,523,566	265,434	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業(包括)			0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)			0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)			0	0	0	
自主事業収入			0	35,651	△ 35,651	
雑入	0	0	0	67,020	△ 67,020	
印刷代			0	0	0	
自動販売機手数料			0	0	0	
駐車場利用料金収入			0	0	0	
その他(指定管理充当)			0	67,020	△ 67,020	実習生謝礼金等
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	34,316,902	0	34,316,902	31,974,089	2,342,813	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,246,902	0	30,246,902	22,854,987	7,391,915	
本俸	19,500,000		19,500,000	14,824,416	4,675,584	
社会保険料	3,796,902		3,796,902	2,783,738	1,013,164	
手当計	5,300,000		5,300,000	4,293,417	1,006,583	
健康診断費	60,000		60,000	39,528	20,472	
勤労者福祉共済掛金	40,000		40,000	24,000	16,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	600,000		600,000	339,200	260,800	年金共済引当金
その他	950,000		950,000	550,688	399,312	福祉医療機構共済金
事務費	1,595,000	0	1,595,000	1,578,969	16,031	
旅費	30,000		30,000	17,034	12,966	
消耗品費	300,000		300,000	190,296	109,704	消耗品購入
会議贈り費	10,000		10,000	0	10,000	
印刷製本費	250,000		250,000	300,144	△ 50,144	広報誌印刷代等
通信費	200,000		200,000	121,340	78,660	電話代等
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費	0		0	78,358	△ 78,358	消耗品購入等
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	300,000		300,000	240,647	59,353	
職員等研修費	60,000		60,000	18,039	41,961	
振込手数料	10,000		10,000	12,204	△ 2,204	
リース料	5,000		5,000	0	5,000	
手数料	20,000		20,000	0	20,000	
地域協力費	10,000		10,000	0	10,000	
その他	400,000		400,000	600,907	△ 200,907	
事業費	1,289,000	0	1,289,000	6,066,540	△ 4,777,540	
協力医	630,000		630,000	357,000	273,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	200,000		200,000	68,077	131,923	
指定管理料充当事業(介護予防)	150,000		150,000	117,897	32,103	
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	5,523,566	△ 5,214,566	予算:指定額
管理費	1,186,000	0	1,186,000	1,450,190	△ 264,190	
建築物・建築設備点検	10,000		10,000	0	10,000	予算:指定額
光熱水費	760,000	0	760,000	1,136,070	△ 376,070	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	
水道料金			0	0	0	
清掃費	100,000		100,000	88,407	11,593	
修繕費	126,000		126,000	0	126,000	予算:指定額
機械警備費	20,000		20,000	11,789	8,211	
設備保全費	170,000	0	170,000	175,524	△ 5,524	
空調衛生設備保守	60,000		60,000	53,069	6,931	
消防設備保守	20,000		20,000	23,265	△ 3,265	
電気設備保守	20,000		20,000	29,400	△ 9,400	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000	8,038	1,962	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	60,000		60,000	61,752	△ 1,752	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	38,400	△ 38,400	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他()			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対対応費			0	0	0	
支出合計	34,316,902	0	34,316,902	31,950,686	2,366,216	
差引	0	0	0	23,403	△ 23,403	

自主事業費収入						
自主事業費支出						
自主事業収支	0			0		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入				0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出				0		使用料(横浜市への支払等)、駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支				0		

平成 30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 釜利谷地域ケアプラザ

平成30年4月1日～平成31年3月31日
(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	5,570	14,446	-8,876	27,290	23,903	3,387	77,254	68,078	9,176	8,219	6,236	1,983
	その他	3,567	0	3,567	583	719	-136	16,480	21,381	-4,901	1,693	1,316	377
	介護予防ケアマネジメント費	3,567	0	3,567	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	事業・負担金収入	0	0	0	0	0	0	15,630	15,531	99	1,693	1,316	377
	認定調査	0	0	0	583	719	-136	0	0	0	0	0	0
	寄附金	0	0	0	0	0	0	0	4,094	-4,094	0	0	0
	引当金取崩収入	0	0	0	0	0	0	0	529	-529	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	850	1,227	-377	0	0	0
	収入合計(A)	9,137	14,446	-5,309	27,873	24,622	3,251	93,734	89,459	4,275	9,912	7,552	2,360
支出	人件費	2,669	3,207	-538	22,790	22,167	623	70,380	72,926	-2,546	0	0	0
	事務費	800	803	-3	1,095	1,194	-99	5,940	4,211	1,729	0	0	0
	事業費	50	33	17	50	12	38	9,145	9,071	74	0	0	0
	管理費	0	0	0	0	0	0	13,650	12,053	1,597	0	0	0
	その他	3,100	7,754	-4,654	350	22	328	3,587	7,783	-4,196	0	0	0
	利用者負担軽減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	消費税	0	0	0	350	22	328	0	91	-91	0	0	0
	介護予防プラン委託料	3,100	7,754	-4,654	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	車輛寄付相当額	0	0	0	0	0	0	0	4,094	-4,094	0	0	0
	長期前払費用	0	0	0	0	0	0	0	11	-11	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
支出合計(B)	6,619	11,797	-5,178	24,285	23,395	890	102,702	106,044	-3,342	0	0	0	
収支 (A) - (B)	2,518	2,649	-131	3,588	1,227	2,361	-8,968	-16,585	7,617	9,912	7,552	2,360	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同様に記載をしてください。